

(ご注意)

この申出書は、非開示を希望する書面ごとに作成し、この申出書の直後に非開示を希望する書面をホチキスなどで留めてください。

なお、この申出書を提出しても、裁判官又は調停官の判断により、別添の書類やこの申出書が開示される(秘密にできない)場合があります。その場合でも、提出した書類は撤回できません。

また、住所を非開示とした場合、住所の連続性の確認が困難となり、調停等で決まった内容を実現するための強制執行の手續に支障が生じたり、不動産の登記手續ができなかったりするなどの不利益が生じることがあります。

平成 年(家)第 号

非開示希望申出書

【1】別添の書類を非開示とすることを希望します (次のいずれかにチェック)。

一部 (マーカーで色付けした部分) 全部

【2】理由は、以下のとおりです (いずれかにチェック)。

自分や第三者の私生活や仕事の平穩を害されるおそれがある(ア～オに該当するものがあれば○を)

ア 非開示希望者は、 相手 から、犯罪や暴力の被害を受けた。

(被害内容:)

イ 非開示希望者は、保護命令 を受けている。 の申立てをしている。

(裁判所名)

(事件番号) 平成 年(配子)第 号

(発令日・申立日) 平成 年 月 日

ウ 非開示希望者の申出により、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく、 警告・ 禁止の命令が発せられている。

エ 配偶者暴力相談支援センターや警察署等に告訴・告発・相談をしている
る(告訴, 告発, 相談先機関名 / 告訴, 告発, 相談の時期及び内容を次欄に記載)

オ 住民基本台帳法上の住民票の閲覧制限等の支援措置を受けている。

(市役所等名)

(措置日) 平成 年 月 日

子供(未成年者)の利益が害されるおそれがある。

自分や第三者の私生活上の重大な秘密が明らかにされることで、社会生活を営むのに著しい支障を生じたり、名誉を著しく害されるおそれがある。

相手に開示することを不適當とする特別の事由がある。

【理由の詳細】 (※ 連絡先等の届出書以外の文書の非開示を希望する場合には、具体的な事情をできるだけ詳細に記載してください。)

平成 年 月 日 申立人 / 相手方 氏名: _____ 印

(調停・別二審判(人訴を除く))